

第 60 代理事長 退任のご挨拶



第 60 代理事長 鶴澤尚哉

このたび任期満了に伴い第 60 代理事長の職を退任することになりました。在任中は OB の先輩方をはじめ協賛会員各社様、また、特に現役役員の皆様方には本当に厚いご支援を賜り心より深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

昨年、4 月の第 59 回総会において選出され、栄えある大阪薬業青年クラブの理事長として大役を仰せつかりました。特に本年は創立 60 周年をひかえた準備期間に相当し私なりにクラブ運営に対しての姿勢や周年事業に対する絵を

描いてまいりました。

本年のテーマ「未来のために力を合わせよう」のもと副理事長をはじめ各室長のみなさんが本当に頑張ってくれました。一つ一つの事業が皆さんの参画意識のもと充実した物となったことと思います。

また、60 周年に向けての事業立案もプロジェクトチームの会議を月一回のペースで持ち作り上げてまいりました。事業、式典、記念誌の 3 チームで構成し 5 月には「愛の菓子 IN カンボジア」と銘打って井戸寄贈と菓子寄贈を行います。また、11 月 14 日にはホテル日航大阪にて記念式典を盛大に開催いたします。その内容を盛り込んだうえで来年 1 月には記念誌を発刊いたします。一連の周年事業に関しましては会員の皆様のご理解とご協力を賜りますように重ねてお願い申し上げます。

さて、この一年を振り返りますと楽しみながら充実した青年クラブ活動をさせていただきました。

くだけた表現を使えば私にとって「居心地のいい場所」が大阪薬業青年クラブとなりました。

おそらく今年の役員の皆様も大方の意見は一緒だと思いますが、これからもずっと信頼できるような関係を築くことができた事です。それは私の財産となり、また、青年クラブに参加する最大のメリットではないかと思えます。その中でも理事長の職を任された事は私にとりまして生涯忘れられない経験となりました。

これからの青年クラブを考えていくうえで、現役会員の方々にはまずもって事業にどんどん参加していただきたいと思えます。その中で色々な役割が廻ってきます。是非進んで受けて行って下さい。どの役割も本当に大切に他では得ることのできない経験ができることと思えます。自分を磨き家業に反映できる力をつけて下さい。

最後になりましたが、これからの大阪薬業青年クラブの発展と会員の皆様の社業のご繁栄を切に願ひまして私の退任の挨拶に代えさせていただきます。

大阪薬業青年クラブ第 60 代理事長鶴澤尚哉

